

会 議 録

(11-1)

会議の名称		令和元年度第2回春日部市特別職報酬等審議会	
開催日時		令和元年12月20日(金)	開 会 午後1時30分
			閉 会 午後2時20分
開催場所		春日部市役所 本庁舎2階 全員協議会室	
議長(会長等)氏名		尾堤 英雄	
出席者	委員氏名	(出席人数：10人)	
		・飯塚悦子 ・井澤真紀 ・大石克紀 ・尾堤英雄 ・高山まさ子 ・中村靖史 ・長本光 ・山口潤 ・渡邊健二	
	説明者 その他	(出席人数： 人)	
事務局	事務局	(出席人数：7人)	
		・総務部長 木村浩巳 ・総務部次長 宗広則行	
		・総務部参事兼人事課長 川村明・人事課給与厚生担当課長 島崎勇治	
		・給与厚生担当主幹 野田律介・給与厚生担当主査 大塚博文 ・給与厚生担当主事 岡修平	
次第及び公開、一部公開、非公開の区分		1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 (1) 市長、副市長及び教育長の給料について(公開) (2) 病院事業管理者及び水道事業管理者の給料について(公開) (3) 市議会議員の報酬について(公開) (4) その他(公開) 4. 閉会	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		・会議次第	
会議録の作製方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録	
		<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録	
		<input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定			

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>本日は大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。ただいまから、令和元年度第2回春日部市特別職報酬等審議会を開会いたします。はじめに、審議に先立ち、尾堤会長よりごあいさつをお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(会長あいさつ)</p>
事務局	<p>本日の会議でございますが、審議会条例第5条第2項の規定により、会議は、委員の過半数の出席により成立することとなっております。本日、委員定数10名中、9名の出席をいただいておりますので、この会議が成立していることをご報告させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(会議公開の報告)</p>
事務局	<p>次に、本日配布した資料の確認をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の会議次第 <p>の1点となります。不足がございましたら、お申し出ください。それでは、議事進行を会長をお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、審議に入ります。本日は、委員の皆さまのご意見を集約し、答申の方向づけの審議を行っていきたく思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>最初に、議題(1)市長、副市長及び教育長の給料について及び議題(2)病院事業管理者及び水道事業管理者の給料についてを議題といたします。第1回審議会での説明を踏まえて、委員の皆様のご意見を伺いたく思います。</p> <p>資料にあります他市との比較などを参考にいただきながら、市長、副市長、教育長、病院事業管理者、水道事業管理者の給料の額が妥当であるのか、それとも低いのか、高いのかどうかを含めて、据置きとするのか、引上げるのか、引下げるのかといったようなご意見を伺いたく思います。率直に感じていることをお伺いできればと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>意見の前に質問がございます。</p> <p>前回、副市長のお話の中で、超過勤務手当の未払い問題について年度内に内部で調査をするとのことでしたが、その後の進展はあったのでしょうか。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>先般、超過勤務手当の未払いについての中間報告をしました。その後、全庁的に調査をしている段階です。現段階では全庁的な調査について説明できませんが、年度末までにまとめることを目標に調査を進めている状況です。</p>
委員	<p>前回、色々ご説明して頂き、この審議会で特別職の給料が決まることについて、改めて知ることができました。そのことを知ることによって特別職の活動状況に対する見方が変わりました。そのことが、この審議会に参加して一番得たことです。</p> <p>また、説明の中で春日部市の借金が多いことを改めて知り、今後のことがとても不安になりました。</p>
委員	<p>今、ニュース等で非正規職員の賃金について正規職員と同等にするといわれていますが、そのことによって財政的にどうなのかなと思っています。さらに、特別職の報酬を引上げにすると全体的に歳出が増えると思われるので、それを考えると据置きが妥当と思います。</p>
委員	<p>前回、昨年度の答申書を提供して頂きたいとお願いし、その後提供して頂きました。あらためて、昨年度の答申内容について簡単に説明をお願いできないでしょうか。</p>
事務局	<p>昨年度においても3回の審議会を開催しました。1回目で資料の説明をし、2回目で各委員の皆様からのご意見を頂戴し、3回目で答申をまとめました。答申の主な内容としまして、市議会議員の報酬の額は、現行の額に据え置くことが適当である。市長、副市長及び教育長の給料の額は、現行の額に据え置くことが適当である。病院事業管理者及び水道事業管理者の給料の額は、現行の額に据え置くことが適当である。との意見を頂きました。</p> <p>答申の結論について説明をします。当審議会において様々な意見交換を経て、次のような結論に達した。特別職の報酬等の審議にあたっては、職責に見合う額としつつも、本市の財政状況などを十分に踏まえ、県内の人口15万人以上の市や関東圏内の施行時特例市との比較も考慮しながら次の点について検討を行った。</p> <p>主な内容としまして、このような両者の職務、職責を踏まえた上で報酬の額を検討すると、同規模の自治体との比較においては、その水準は全体的に下回る状況となっている。また、一般職の給与改定の基礎となる人事院勧告について、給料は増額改定となったものの若年層に重点を置いた引上げであり、一般職の部・次長クラスは、</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	<p>ごく少額の引上げにとどまっている。これらを念頭に各委員の意見交換と慎重な審議を尽くした結果、昨年においては、据置きが適当であるとの結論に達したものでございます。</p> <p>結論として据置きという判断をしております。</p> <p>財政資料等において経常収支比率が平成30年は、若干悪化しています。他市の経常収支比率と比較しても少し数字的に悪いです。しかし、財政状況の資料が必ずしも強い指標として表れているわけではないです。</p> <p>昨年の審議会でも申し上げましたが、市長や議員の方においては、自分の生活がある程度投げ売って、春日部市のためにお力を注いでいるわけですが、そのような志ある人を多くするためにも、給料を高く引上げないといけないのではないかと思います。しかし、このような財政状況等、他市の状況を勘案すると引上げをする材料がないのかなという意見です。</p>
委員	<p>市長及び議員の役割、職責に見合う報酬でなければいけないと考えます。しかし、現時点では引上げできる要素がなく、市民が納得するような引上げる材料がないと思います。</p> <p>民間の景気は、若干上昇しているようですが、全体的にみると上昇しているという実感がありません。また、高齢化率において令和元年に30パーセントを超えてしまいました。生産年齢人口の割合が増えないと、税収の確保や継続的な発展ということに対し心配なところがあります。</p> <p>全体的なことを考えると引上げるという選択肢はないのかなと思います。結論としては、据置きにならざるを得ないという意見です。</p>
委員	<p>全般的に市の財政状況が好転する状況ではないこと。市民感情的には景気が良いとは感じられず、景気は変わらない、またはきついかなと思われま。</p> <p>少子高齢化及び人口減少を踏まえて市の政策がされ、政策によって市の活性化が図れるということがあれば、特別職の給料に跳ね返ってもよいと思います。</p> <p>また、人事院勧告では少額な改定ということも踏まえますと、現状としては据置きと思います。</p>
委員	<p>結論から申し上げますと据置きが妥当かなと思います。</p> <p>理由として財政収支の指標を見ると不安な点があり、今後、鉄道高</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	<p>架事業、本庁舎整備事業等で大きい歳出が見込まれる中、市長及び副市長は非常に力を入れて市を運営していかなければならないです。それに見合うための給料を支払いたいです。それについてはまた別の議論になると思います。意欲的に前へ進めて頂きたいと思えます。</p> <p>また、不安要素として社会保障費の増大や高齢化率が30パーセントを超えたため、税収にも大きく関わってくると思えます。このことから、給料を増やす決断はできないと思えました。</p> <p>質問としまして、過去10年の人件費比率の推移を教えてくださいののですが。</p>
事務局	<p>共通の資料10ページをお開きください。その中に平成30年度決算において、人件費の比率は15.8パーセントとなっております。また過去10年分については、資料がないためお答えできず申し訳ございません。</p>
委員	<p>病院の経営で人件費比率が50パーセントを超えると赤信号だといわれております。15パーセント位であれば、妥当なのかと思えます。</p> <p>給料を決定するにあたり、まず市への貢献度がどれくらいなのか。それから、他市との比較。春日部市の財力に比べてどの程度の人件費なのか。これらの観点から給料を決定するのではないかなと思えます。市長をはじめ、皆さん一生懸命働いていらっしゃいます。貢献度については充分であると思えます。他市との比較については、可もなし不可もなしという状況で問題ないのではないかなと思えます。春日部市の財力に比べての人件費でも問題ないのかなと考えております。</p> <p>ただし、給料を引上げるかどうかになると、現状維持がベターであると考えております。</p>
委員	<p>消費税が10パーセントになり物価も上昇しているので、特別職の給料を引上げてあげたい気持ちはありますが、現状維持の据置きと思えます。</p> <p>市長はいろいろなことを一生懸命活動していることは、わかっています。一分一秒と忙しく走って活動していることもわかっています。しかし、本当に全ての市民に対して隅から隅までわかっているのかと疑問がございます。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<p>今年度の台風の時、春日部市内で水はけの悪い場所で水害がありました。その時、土のうをもらいに災害本部に行きましたが、同じように土のうを貰いに来ている市民の方がたくさんいらっしゃいました。市長はそれらを全て把握しているのでしょうか。私自身、現在の場所に住んで20年になりますが、水が上がったのが今回で4回目です。その度に市へ対策してほしいとお願いしに行きました。しかし、市の回答は直せないとの回答でしたが、直せないとの回答については、おかしいと思います。そのような市民の方は、大勢いらっしゃると思います。このような心配りが無いのはいかがなものかと思えます。</p> <p>市民のために目に見える大きな事業をするのは良いですが、細かいところにも目を向けていただきたいです。そのような細かいことをすれば市民の方からも給料を上げてくださいという意見がでると思います。大きな事業だけが市を良くするのではないと思います。市民の隅まで心配りして頂いてから引上げをしたいと思えます。</p> <p>委員の皆様から忌憚のない活発な意見が出ました。委員皆様からは、市長等の働き方を見たら、給料を引上げてあげたい。しかし、財政状況など色々なことを勘案すると据置きがよろしいのではというご意見が多かったです。</p> <p>それでは、皆さんの意見も出そろいました。議題（1）市長、副市長及び教育長の給料について、議題（2）病院事業管理者及び水道事業管理者の給料について、審議会としての結論をまとめたいと思います。</p> <p>市長、副市長及び教育長の給料については据置き、病院事業管理者、水道事業管理者の給料についても据置きということによろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（ 異議なし ）</p>
議長	<p>続きまして、議題（3）市議会議員の報酬についてを議題といたします。先ほどと同様に、他市との比較などを参考にいただき、市議会議員の報酬の額が妥当かどうかを率直にお伺いできればと思います。</p>
委員	<p>市議会議員は、私達がこうしてもらおうと助かるということに対して、声をかければ動いて頂いております。また、市議会議員は報酬だけで生計を立てているわけではないのに、なぜ給料査定をするの</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	<p>かなと思ったことがございました。職員は給料額を定めてもよいけれども、議員の報酬については据置きで充分ではないかと考えております。</p> <p>議員の活動状況についてですが、こどもの集まりや学校行事でお見かけする方はわりと決まっています。知っている議員の活動状況は、わかりますが、知らない議員については選挙ポスターではじめて議員であることを知ったりもします。市民の方も同様に議員によって知っている議員、知らない議員はいらっしゃると思います。議員は、もっといろいろな活動をしていただけるとよいと思います。議員は市民が選んだ一番身近な方であると思います。</p> <p>また、健康状態等の事情があるとは思いますが議員によって各委員会での活動状況に差があると思います。</p> <p>さらにこの報酬だけで生活しているわけではないと思われることから引上げに関してはどうなのかなと思います。引下げることに関してもどうなのかなと思います。よって据置きが妥当なのかなと思っています。</p>
委員	<p>据置きが妥当だと思います。</p> <p>議員活動はそれぞれの議員で差異があり、見た目の給料以上に頑張っている方もいれば、そこまで頑張っていないような方もいらっしゃると思います。ただし、それに関しては最終的に選挙で選ばれる、選ばれないが決まるので、それに対してどうこう言うつもりはないです。</p> <p>また、議員の方は副業をしているので、議員報酬だけで生活しているわけではないと思います。高い志をお持ちの方がサラリーマンの職を投げ売って、自分が住んでいる市を良くしていこうと、議員になって活動しようとする人が一人でも多く出てくることが市の発展のためにはすごく重要なことだと思います。現状、議員の大半の方は副業をもっていらっしゃると思われるので、この給料が高い、低いは関係ないと思われます。しかし本来的には自分の職を投げ売ってでも市を良くしていこうという志を高くもっている人が議員になるべきで、そのような人の集まりが市を良くしていく。そう考えると議員報酬は本来、魅力あるものにしていかないといけないと思っています。ただし、市の財政状況であったり、他市の状況であったりとかを勘案すると特段引上げの明確な理由が見当たらないです。気持ちとしては引上げたいが、結論としては据置きとっております。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	<p>結論として据置きかなと思います。</p> <p>税金の中から市長や議員の報酬が出ておりますから、基本的に引上げできるかどうかの要素として、市長と同じ要素で考えていいのかなと思います。そのため据置きでよいのかなと考えております。</p> <p>市議会議員の活動状況で定例会の出席、委員会の出席でばらつきがあり、決まった金額を一律の報酬で支払うことに対していいのか、どうなのかと思います。柔軟なやり方として例えば、基本給プラス出来高での支払方法もあっていいのかなと思いますが、やはり議員報酬の支払について、条例上そのようなことができるのかどうかを考えると、柔軟にやることは難しく、いたしかたないと思います。そのような中でも議員は春日部市を良くしていこうと活動しております。</p> <p>議員として専念している方や兼業の方がいらっしゃいますが、兼業の方も議員活動をしなければ、本業の方に100パーセント集中できます。むしろ事業を持たれている方は売上が上がりますが、それを抑えて議員としての活動に自分の時間を割いて活動されていらっしゃいます。それにはそれ相応の評価があってしかるべきのかなと思います。以上のことから現状維持と考えます。</p> <p>今後、議員の活動状況が見えるように工夫する必要があるのではと思います。もっと議会の活動が市民に分かるように力をいれていくことによって、市民がどうすればもっと市が良くなるか考えるようになると思います。</p>
委員	<p>市議会議員の活動として自治会活動の場にあいさつにいらっしゃいますが、本来の仕事は市議会において、市執行部の政策に対しチェックすることだと思っております。</p> <p>春日部市は、他市と比べて議員の数が多いのではと思います。議員の数を減らし、その分報酬を上げるのもいいのかなと思います。ただし、議員の数を少なくするという点については、この審議会で諮るものではないのです。現状の据置きかなと思います。不謹慎な言い方になるかもしれませんが、議員の報酬を減らして名誉職にしまえばいいのかなと思ってしまうこともありました。現実的なことではありませんでしたので、不謹慎な言い方をしてしまいました。</p> <p>市長等と同じように扱うのであれば据置きがよいと思います。</p>
委員	<p>市議会議員の報酬については、結論として据置きの考え方です。</p> <p>判断基準としては、現在支給されている報酬は妥当であるだろうという考え方です。併せて、活動状況、議案の内容及び視察の回数</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<p>などからある程度活動されているので据置きとさせていただければと思います。あえて、一言申しますと、市民のより近くにいるべき立場、市民の意見を代表する職務にあるので、より市民の一つ一つの声に応えられるようにフットワークのよい活動をして頂きながら、よりすばらしい活動がいろいろな面で市民に伝わるようになったら、初めて給料を上げる議論になるのかなと思っています。</p> <p>個人的な反省点がございます。去年からこの審議会に出席し、市議会議員の活動状況がわからないと申し上げました。その後、議会の傍聴に行けず、市議会だよりも読めていないのは非常にはずかしいところです。</p> <p>今回提供して頂いた資料の中では、先ほど申し上げた結論になるのかなと思います。今後、より一層のご努力とご尽力を期待しております。</p>
委員	<p>市長、副市長、教育長が現状維持で諮問していくと、議員の給与を上げる根拠がどこにあるのか。また、下げる根拠がどこにあるのか。そうすると今の状況でよろしいのではないのかなと考えております。</p>
委員	<p>市長等が現状維持で議員だけ引上げるのはどうなのかなと思います。よって据置きがいいのではと思います。</p>
議長	<p>皆様方のご意見出そろいました。議員は、よく働いているけれども、市長、副市長、教育長、病院事業管理者、水道事業管理者と同様に据置きがよろしいのではないかというのが委員皆さんからのご意見です。市長や議員もよくやっているので本当であれば上げをしたい。しかしそのような状況ではない。この皆さんの気持ちを当事者の方が胸に受け止めて、さらに市民のために活躍してもらうことが大事だと思います。</p> <p>それでは、皆さんの意見も出そろいましたので、議題（３）市議会議員の報酬について、審議会の結論をまとめたいと思います。</p> <p>皆様のご意見は、据置きというご意見が多数でした。市議会議員の報酬については据置きということではよろしいでしょうか。</p>
議長	<p style="text-align: center;">（ 異議なし ）</p> <p>以上ですべての議題に対する審議会の意見がまとまりました。今後は、この審議会としての意見を答申書（案）としてまとめ、次</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<p>回の審議会会議で決定したいと思います。次回までに事務局で答申書（案）の作成をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（ 異議なし ）</p>
議長	<p>それでは、次回の会議までに答申書（案）の作成を事務局にお願いします。続きまして、議題（４）その他について、事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>様々なご意見大変ありがとうございました。その中で何点か補足としまして、市側の現状を申し上げさせていただきます。</p> <p>皆様のご意見の中で、税収の確保、活性化を図る、生産年齢世代の不足などいろいろご意見いただきました。その中では、今まで春日部市が取り組んできたことが、いよいよ種が芽を出しこれから成長していく段階になってきております。配布しました資料にある様々な事業が今、大きく根を張り、枝を伸ばしていく時期でございます。</p> <p>一例申し上げますと春日部駅付近連続立体交差事業について先般、事業認可を頂きました。いよいよ始動はじめます。そのような中で、まちづくりも積極的にさらに推進していきたく思います。また、北春日部駅周辺土地区画整理事業もこれから動き出していきます。子育て世代を対象にした様々な事業も今動き出しております。そのような事業を進めていく中で、委員の皆様からご意見いただきました、税収、若い世代の確保、活性化については、今後推進されていくと思っております。</p> <p>また、議員活動につきましても、活動状況がなかなか見えないというご指摘ございました。議会としましては、開かれた議会ということで改革に取り組んでいると聞いております。議員活動が市民の皆様から理解され、市民の代表として市民と一緒に活動していくということを念頭に議会改革が取り組まれていると聞いております。</p> <p>以上、色々ご意見頂きました中で、何点か補足させて頂きました。</p>
事務局	<p>今後、ご審議いただいた内容を取りまとめ、答申書（案）を作成いたしますので、次回の会議では確認をお願いいたします。</p> <p>次回の審議会の日程につきましては、第２回、第３回会議分を合わせてご通知いたしましたとおり、１月８日（水）午後２時００分から、会場は今回と同じ全員協議会室となります。</p>

発 言 者	発 言 者・発 言 者
議長	<p>なお、第3回会議の開催につきましては、改めてご通知いたしませんので、よろしく願いいたします。</p> <p>他に何かありましたら、お願いします。</p> <p>(特になし)</p>
議長	<p>他にないようですので、進行を事務局にお返しいたします。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>長時間にわたりご審議いただきまして、ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、第2回特別職報酬等審議会を終了いたします。</p>
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和2年1月8日</p> <p>署名者の職・氏名 会長 尾 堤 英 雄</p>	